

が、ドロボウによくねらわれるのが円筒錠です。

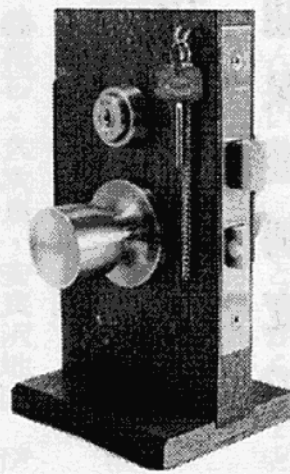
このタイプは、内側の握り玉にあるボタンを押すと、外側の握り玉が回らなくなり、そのままドアを閉めると戸締まりができるものです。ところが弱点かといえますと、カンヌキがないのですぐにごじあけられてしまいます。また、ノブを強く回すと、簡単に壊されてしまうのです。

円筒錠は、もともと家の中の各部屋に付ける錠ですから、玄関の錠としては不適當なのです。円筒錠を玄関に付けているお宅は、早急にほかの錠と付け替えるか、カンヌキの長い補助錠を取り付けてください。

シリンダー箱錠が

最も安全

付け替えに一番勧められるのは、シリンダー箱錠です。ちよつとみると、円筒錠と似ていますが、構造はまるで違います。



シリンダー箱錠

これは、カンヌキが別にもうけられており、しかもその出幅が長いので、ちよつとやそつとではこじ開けられません。それに、カギ穴が握り玉と別のところにあるので、ノブを壊されても開かない仕掛けになっています。ですから玄関のドアに一番適しているといえます。

せっかくカギを付けても役たたずでは何にもなりません。もう一度、玄関の安全を確かめてください。

市庁舎の電話が自動化になりました

九月一日から、市庁舎内の電話が自動化になりましたが、その自動化に先がけて、午前八時三十分

から「市庁舎電話自動化の開通式」を、自動電話交換機室で行いました。



星野市長と金子議長がテープカットを行い、記念通話では、交換手に長年の労をねぎらいました。

市庁舎内の電話が自動化されたことにより、内線数が大幅に増え、局線数も着信専用が増設されたので、お話し中の状態が大幅に解消されました。また、本庁外の市立図書館・中央公民館（☎③三七〇〇）、観光課（☎③三七九五）へも、市役所代表番号の（☎④一一一一）でも、専用番号でも通じることになりました。

電話自動化の開通式

の軍隊が進駐しはじめた。日光では、連合軍将兵の休養所として、金谷ホテル・レークサイドホテル・日光観光ホテルが接収され、毎日数百名の将兵が滞在することになった。三ホテル接収にともない、湯元スキーロッジ・湯元山の家・竜頭山の家は、スキー小屋および休憩所となり、中禅寺湖のボート・ヨットも接収された。各ホテルには、遊覧バス、乗場などの設備ができ休養所として使用された。

⑳ 日光町観光協会発足（昭和20年11月1日）
鈴木久太郎町長が発起人となり、初代会長に金谷真一を迎え、観光協会（職員四人）を日光町役場（当時、上鉢石町）内に創設した。

また、国鉄・東武両日光駅前に案内所を設けて、観光客を誘致・宣伝などに努めた。

㉑ 六・三制の実施（昭和22年4月1日）
戦後の教育改革で、六・三制が実施され、日光では、昭和22年3月31日に「日光町新学制実施準備協議会」が発足し、小学校については、それまでの通学区域をそのまま当て、名称だけを変更した。中学校は、小学校に併設して創立した。（日光町立日光中学校・同野口分校・同二荒中学校・同中宮祠分校・小来川村立小来川中学校）

㉒ 天皇の行幸（昭和22年9月6日）
戦後の民情視察と、国民の復興への労苦を慰問激励するために、天皇の全国巡幸が昭和21年から行われた。栃木県には、昭和22年9月4日から三日間、県内各所をまわられ、日光へは、9月6日午後一時三十分、国鉄日光駅にご到着。自動車で、日光電気精銅所をご視察、午後三時三十分、国鉄日光駅発で、那須御用邸に向かわれた。

（訂正）㉓ 荒沢郵便局開局の日が、昭和19年7月31日とあるのを8月21日に訂正します。